

令和 6 年度(2024 年度)豊中市立学校におけるいじめについて

現 状

(1)いじめ認知件数(令和 6 年(2024 年)12 月末)

- ・市全体の認知件数 1,900 件(昨年度同時期より 651 件増加)
- ・小学校の認知件数 1,424 件(昨年度同時期より 491 件増加)
- ・中学校の認知件数 476 件(昨年度同時期より 160 件増加)

(2)児童生徒千人あたりのいじめ認知件数(令和 6 年(2024 年)12 月末)

- ・市全体の千人あたりの認知件数 59.3 件(昨年度同時期より 20.5 件増加)
- ・小学校の千人あたりの認知件数 64.5 件(昨年度同時期より 22.5 件増加)
- ・中学校の千人あたりの認知件数 47.7 件(昨年度同時期より 16.0 件増加)

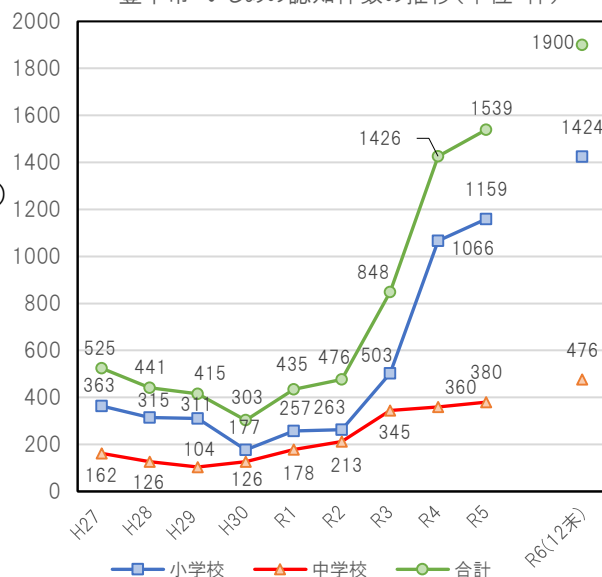
(3)学校別のいじめ認知件数(令和 6 年(2024 年)12 月末)

- ・いじめ認知件数が 5 件以下の学校 0 校(昨年度同時期は 1 校)
- ・いじめ認知件数が 10 件以下の学校 4 校(昨年度同時期は 11 校)

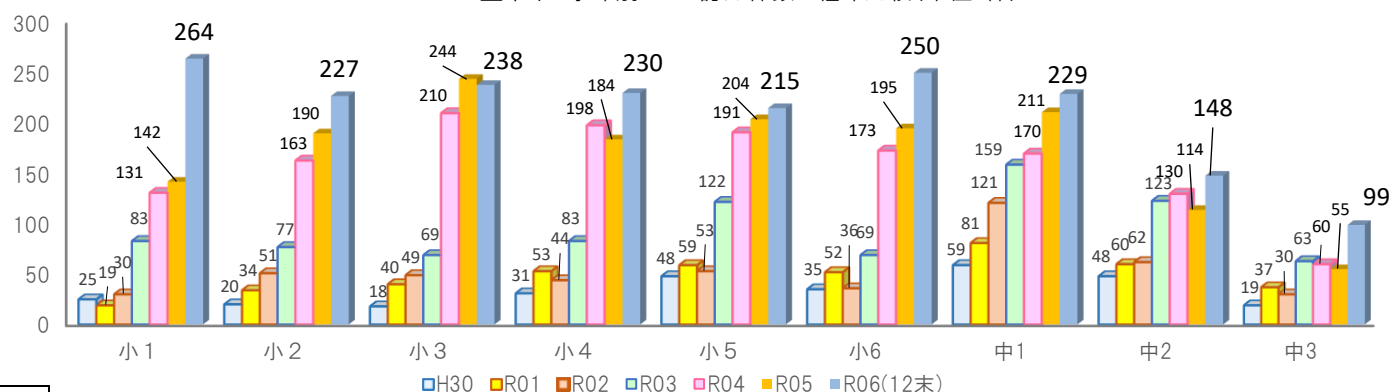
(4)学年別のいじめ認知件数(令和 6 年度(2024 年度))

- ・小3以外は 12 月の時点で昨年度のいじめ認知件数を超えている。
- ・小 1、小 6、中3におけるいじめ認知件数の増加傾向が顕著

豊中市 いじめの認知件数の推移(単位:件)



豊中市 学年別いじめ認知件数の経年比較(単位:件)



取 組

(1)各校からの報告(月ごと調査)及び相談内容への対応を実施。

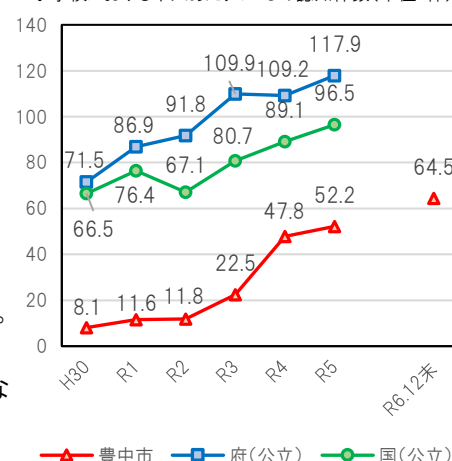
(2)令和 6 年度(2024 年度)において児童生徒千人あたりのいじめ認知件数の低かった学校に対して、いじめに関する研修の実施を働きかけ、指導主事を講師とした校内研修を小学校 13 校、中学校 4 校で実施。

(3)校長会議や小中学校生徒指導担当者会において「いじめ」に関する連絡を実施。いじめの正確な認知に関する教職員間での共通理解、認知したいじめの早期解消及び関係児童生徒の見守りの着実な実施等を依頼。

(4)今年度、いじめの認知等に関して以下の研修等を実施。

- ・4 月 新任校長研修/新任教頭研修/初任者研修
「いじめ防止基本方針と学校におけるいじめ対応について」
- ・5、7 月 生徒(生活)指導研修①、②
「児童・生徒への聞き取りと記録の仕方について」片山教授
「いじめ事案への対応について、専門的な観点から振り返る」阿形教授

小学校における千人あたりのいじめ認知件数(単位:件)



課 題

(1)小学校における児童生徒千人あたりのいじめ認知件数は、増加傾向にあるが、昨年度の大阪府(公立)及び全国(公立)と比較すると依然として低い状況にある。

(2)令和 6 年 12 月末時点での児童生徒千人あたりのいじめ認知件数の学校格差については、最大数と最小数の差は小学校で 182.1 件、中学校で 118.9 件となっている。(昨年度同時期は小学校で 72.2 件、中学校で 54.9 件)

令和6年度(2024年度)豊中市立学校における研修後の教員用いじめ対応セルフチェックシートの結果について

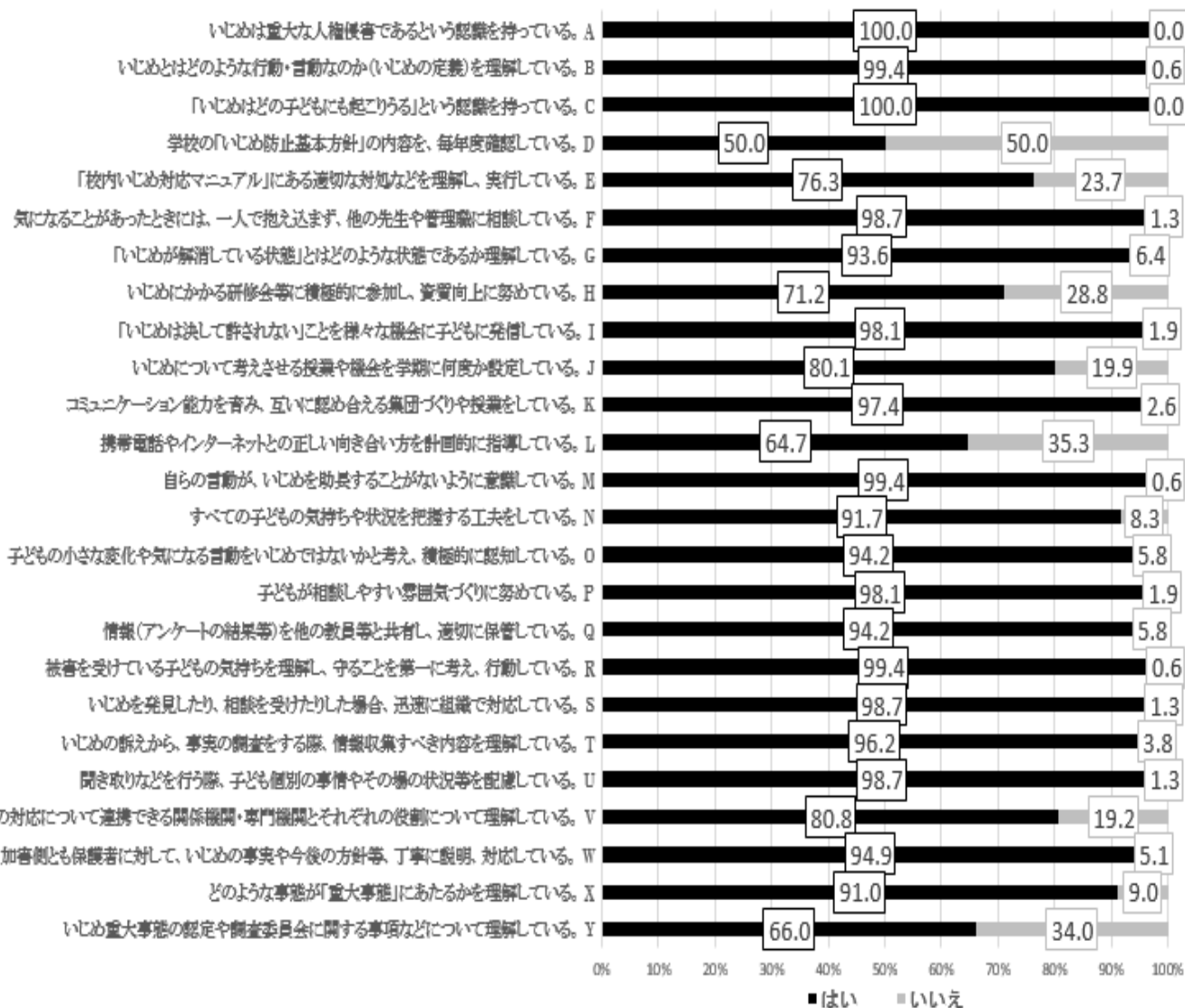
結果

対象:研修希望校 小学校6校(132人)、中学校1校(24人) 計156人

質問内容:大阪府教育庁作成【教員用】いじめ対応セルフチェックシート

回答方法:Microsoft Forms

実施期間:2024年7月23日～2025年1月10日(希望校に指導主事が講師として訪問した際に任意で収集)



課題

- (1) D、E、H において、それぞれ否定的回答が 50.0%、23.7%、28.8%とほかの項目と比較して高くなっており、教員の資質向上に向け、さらなる周知や研修などが必要である。
- (2) J、L において、それぞれ否定的回答が 19.9%、35.3%とほかの項目と比較して高くなっており、児童・生徒のいじめに対する SNSトラブルなど具体的事例を踏まえての指導が十分でない可能性がある。
- (3) V において、いじめ対応について連携できる関係機関、専門機関とそれぞれの役割について理解されていない可能性のある教員が、19.2%いることが分かる。
- (4) Y において、否定的回答が 34.0%であり、いじめ防止対策推進法第二十八条及びいじめ重大事態のガイドライン(2024年8月改訂)内容の把握、重大事態対応に関する平時からの備えの徹底に課題があると言える。
- (5) 中学校のデータが少ないため、さらなる把握に努める必要がある。